

県のICTコロナ対策

プラチナ大賞に

自治体や企業などの都市づくり分野の先進的な取り組みを表彰する「第八回プラチナ大賞」で、県の「ICT（情報通信技術）を用いた新型コロナウイルス対策」が、大賞（最優秀賞）に選ばれた。

この賞は、国内の自治体

と企業、国内外の研究機関などで構成する「プラチナ構想ネットワーク」（会長・小宮山宏三菱総合研究所理事長）が創設。課題解決などを通じ、プラチナのように輝く社会を目指す。東京都内で十月二十二日

新型コロナに関する県民の疑問に答えたり、濃厚接触の疑いを知らせたりする取り組みや、飲食店の感染防止策を店に掲示する統一書式「感染防止対策取組書」を紹介。いずれも前例がない中で始め、やがて全国に広がったことをプレゼンテーションした。

（志村彰太）